

公開部門委員会  
金属材料疲労データベースの  
構築とその活用

**企画** 疲労部門委員会・信頼性工学部門委員会合同  
**会場** 電気通信大学  
**日時** 2020年5月29日(金) 13:00～17:10  
**趣旨**

「金属材料疲労データベースの構築とその活用」と題し、疲労部門と信頼性工学部門の合同で公開部門委員会を企画いたしました。金属材料疲労信頼性データ集積評価委員会において、'96年版疲労データベースに収録されている全てのデータがインターネット経由で検索できる「Web版疲労データベースシステム」として運用がなされています。今回は、疲労部門委員会から推薦された立命館大学の上野明先生、NIMS：物質・材料研究機構の古谷佳之氏、信頼性工学部門委員会から推薦された立命館大学名誉教授の酒井達雄先生に本テーマに関する歴史的経緯から到達段階、本システムの有用性、最先端の知見をご紹介します。また、化学プラントの安全性・信頼性に関わる業績が評価され、内閣総理大臣賞を受賞された工学院大学名誉教授の木村雄二先生の基調講演を企画しました。本企画により両部門委員会の連携を深め、データベースを利用した金属材料の疲労評価に関わる研究の拡充と深化の機会を提供できればと考えます。両部門委員会委員の方々および本テーマに興味を持つ幅広い分野から多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。

### プログラム

1. 13:00～14:00 合同ビジネスミーティング，令和元年度疲労部門委員会部門賞贈呈式
2. 14:05～17:10 講演および討論  
(1) <基調講演> (14:05～14:45)  
化学コンビナートのPSM(Process Safety Management)の高度化による産業保安のスマート化  
工学院大学名誉教授 木村 雄二氏  
(2) (14:45～15:25)  
JSMS 金属材料疲労強度データベース事業の歴史的経緯と到達段階  
立命館大学名誉教授  
総合科学技術研究機構 上席研究員  
酒井 達雄氏  
(3) (15:35～16:15)  
Web版疲労データベースシステムについて  
立命館大学 上野 明氏  
金属材料疲労信頼性データ集積評価委員会委員長  
(4) (16:15～16:55)  
NIMS 疲労データシートの収録データと得られた知見  
物質・材料研究機構 ○古谷 佳之氏  
西川 嗣彬氏，蛭川 寿氏，  
長島 伸夫氏，竹内 悦男氏  
(5) (16:55～17:10) 総合討論